

吉中の宝

校長 武井 正明

吉中の宝は生徒だけとは限らない。

いよいよ明日からの3日間、いよいよ県大会第3弾、最終ステージと大きなコンクールが、柏崎競技場で陸上競技、三条パール・見附球場で軟式野球、新潟テルサで吹奏楽、彩の国くまがやドームでカラーガードが勝負を賭ける。

19日は朝イチで私の地元見附で野球部を、そして通信大会では後ろ髪を引かれながら断念した男女リレーの観戦に柏崎へ走る。20日は吹部を（心は埼玉、ガードを）鑑賞し、21日は三条と、吉中にどっぷり浸かる3日間になる。私の応援が少しでもプラスに働くことを念じる。（通信の1500m決勝では「ゾーンに入って」おり私の声は選手に全く聞こえていなかった）熱中症には十分留意して全力を出し切ってほしい。

無類のゴルフ好きな自分が校長となり、ゴルフよりも部活の応援を迷わず優先するようになるとは、自分も家族も思っていなかった。応援に行けば、みんなキラキラした眼で喜んでくれる。『学校日記』に掲載すれば「自分が出てた!!」と言って喜んでくれる。その先に君たちの笑顔があると思ったら、何百枚もある写真を選別するのも苦になりません。それほど「わが吉中生」というのはカワイイものなのです。



そんな時、猛暑の外で汗びっしょりになって作業する丸山管理員を見つけた。

今回の吹奏楽部の発表曲は和太鼓を使う（斎藤哲也前校長が寄贈してくださったもの）のだが、それを置く台車が必要だった。

当初「まあ何とか僕が日曜大工で、エヘヘ…」と矢澤先生はご自分で台を作る気満々だった。その気持ちは勿論ありがたいが、部員たちが一瞬不安な表情になったのを私は見逃さなかった。

これは止めんきゃダメだ。私は「絶対丸山さんをお願いした方がいいよ!!」と何度も念を押した。

頼む方は口ひとつだが、依頼された丸山さんは大変である。

しかし、その完成間近の作品を見て感動した。

「素人仕事で…」と丸山さんは謙遜するが、台車が2台。非常に丁寧に、リクエスト通りの寸法で作られ、下は移動用のストッパー付きの滑車が4個ついている。さすが縁の下の力持ち、吉中の宝、丸山さんならではの仕事だ。

こんな作品は、心と腕がなければできません。私と同じくらい吉中愛を持っているからこそ、こんな素晴らしいものができあがるのだと思う。

吹奏楽部の人たち、みんなが応援しています。丸山さんの吉中愛も背に受けて、思い切り演奏してきてください!!